

新たな医療のあり方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会 今後の検討の全体構造(たたき台)

ビジョン

目指すべき姿

課題・ 이슈(例)

患者の価値中心

- 患者の複合的なニーズ・多様な価値観に応え、患者の価値を常に維持向上させる能力とそれを育成するキャリアが構築できる
- 多様な職種、住民とのチームで患者と向き合う
- 治療に際して、患者・家族の意思決定や意向を尊重し、巻き込むためのコンピテンシーが確保される
- 疾病予防や重症化予防等のため、患者の意識を高めながら参加を促す

- 医療従事者養成課程(教育内容)や資格取得後のキャリア(経験)が、目指すべき姿に対応できているか
- 多職種連携のため、専門職種間での心理的バリアの除去、共通言語の共有、知識ギャップの是正はできているか
- 医療提供体制面では、世界的に標準とされる水準のプライマリケアの確立・普及ができているか
- 市民や患者が適切な情報の取得(含む医療の不確実性や限界への理解)など主体的に関与する環境は十分か

キャリアデザインに中立的

- 子育て等のライフコースの選択によらずプロとして働き、能力を向上し続けられる
- ニーズの変化や時々の選択意思に応じて、複数の職種へ従事できるなど柔軟なキャリアの選択が可能となる
- 医療機関での人材マネジメント(評価・待遇・労務管理等)が確立される

- 多様なライフコースの選択に対応したキャリアトラックが明確に定義され、必要な環境や支援策が講じられているか
 - － 特に障害となっているライフイベント(境遇)はどのようなものか
 - － 従事者本人の希望やニーズが的確に把握・分析されているか
- 本人の状況や意思に応じた柔軟なキャリアの選択を行うための制度的環境が整えられているか
- 医療機関におけるマネジメント能力向上の手法や機会は整備され評価されているか

新たな医療のあり方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会 今後の検討の全体構造(たたき台)

ビジョン

目指すべき姿

課題・ 이슈(例)

生産性と 質の向上

- それぞれの専門職として本来的・本質的な業務以外は委譲されるなど多職種間の役割分担が最適化される
- 限られた人的資源と能力が、ICTやAIなどにより最大限活用される
- 個々の保健医療行為が生み出す価値がデータで客観的に把握・評価・促進される

- 医療ニーズや技術の変化、人的資源の変動に応じて、職種間の役割分担を見直すことができるか
- 国際的な潮流や事例を踏まえ、我が国の職種間の役割分担や協働の在り方は適切といえるか
- 進化するICTやテクノロジーが医療にもたらす効果や影響を把握・分析し、基本スタンスが明確か。
- それらに対応する人材づくりやインセンティブ設計は十分か
- 医療の質をどう測り、向上を促すためのデータ環境とメカニズムが構築・機能できているか

経済活力 (イノベ・ 国際化) への貢献

- 保健医療が地域経済に貢献している
- 医療職の関与と貢献により、効果的・革新的な医療技術・製品等が開発されるなど日本の保健医療人材やサービスが国際的な貢献や経済活動の拡大につながる

- 地域における雇用の機会を維持・拡大することができるか
- イノベーションに寄与する人材の育成・キャリア支援・量的確保が図られているか
- ビッグデータ、ゲノムデータ、AI等の活用によるイノベーションや新産業の育成がしやすい環境となっているか
- 我が国の保健医療サービスや人材がグローバルに展開するための環境は十分にあるか。日本に対してどのような期待と可能性があるか

新たな医療のあり方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会 今後の検討の全体構造(たたき台)

ビジョン

目指すべき姿

地域住民
の生活を
深く支え
る

- 地域医療のあり方とまちづくりのあり方が整合し、医療職が積極的に関与・参画できる
- 自治体(都道府県等)が実情に応じたガバナンスと政策展開を行うことができる
- 患者は、地域社会との繋がりの中で医療・介護サービスを受け、死に向き合うことができる

課題・ 이슈(例)

- 地域医療や地域包括ケアシステムとまちづくりが連動するための仕組みや人間関係を構築するための方策が存在するか
- 自治体が能動的に関与するための能力育成や国との健全なコミュニケーションを行う環境ができているか
- 医療機関や医療職が、地域社会を支えるリーダーとなり、あるいは連携する体制が採られているか。医療や介護の提供に際して、地域社会との関わり方について明確な方針を持つことができているか